

長野市総合計画審議会（H17.7.15） 議事の内容

1. 新委員の委嘱

2. 議事

事務局より、第三次長野市総合計画後期基本計画の平成16年度末状況、平成17年度版第三次長野市総合計画実施計画、長野市総合計画審議会作業部会（市民フォーラム21）についてそれぞれ説明。

長野市総合計画審議会作業部会（市民フォーラム21）への審議会委員が所属する部会を決定し、正副作業部会長に次の審議会委員を内定。

福祉部会・・・部会長：久保田委員、副部会長：北村委員

環境部会・・・部会長：佐々木委員、副部会長：宮内委員

防災部会・・・部会長：長委員、副部会長：谷本委員

教育部会・・・部会長：松本委員、副部会長：渡辺（敏）委員

産業部会・・・部会長：渡辺（一）委員、副部会長：川浦委員

都市整備・土地利用部会・・・部会長：齊藤委員、副部会長：樋口委員

説明後の全般についての質問、意見(抜粋)

- ・ 人口の推移についてどういうふうな推移で計画ができているのか。
- ・ 実施計画の補助金や助成金など団体や組織への財政措置について、総務省では広域法人の見直しの検討が行われているが、市としては、それに対して現段階での見直しや見直しがどのように行われているか。
- ・ 資産管理について、指定管理者制度の導入で大胆な検討をしているが、市営・市所有から民間あるいは法人への移管について、どの程度行われるのか。
- ・ 市民とともに目指す目標で71項目の具体的な数字を示されているが、指標のとり方に問題があるのではないかと。第四次の総合計画では、この指標のとり方を見直す必要があると思う。
- ・ 第四次総合計画を審議していく中で、長野市の組織の再構成もありうるのか。
- ・ 市民とともに目指す目標の項目の設定の仕方、項目の設定を吟味することもさることながら、内容的なものを市民が共有できるような分かりやすい形で示していくことが必要である。
- ・ 市民とともに目指す目標のうち学校教育の充実の3項目の設定の理由は何か。
- ・ 公募委員が全部で38名となっているが、誰を採用して、誰を落とすのかはどなたがどの段階でどういうふうに決めるのでしょうか。
- ・ 公募したが集まらなかったという場合、どういう形で補うのか。
- ・ 総合計画の策定に市民参画の形をとるのは、画期的なことであり、本当に実のある市民参画の作業部会であって欲しいが、あまりにもスケジュールがタイト過ぎる。これだけ短い時間の中で総合計画を十分議論することができるのか。

- ・ 6部会で専門的にまとめていくのも大切だが、それぞれの部会がどう横につながって、総合計画ができるのが課題である。
- ・ 作業部会はどこまでやるのか。何を中心に議論するのか。
- ・ 気になる部会にオブザーバーや傍聴の形で参加したい。また、作業部会では、数値目標の71項目の項目内容を是非検討して欲しい。